

出航！橋浦丸 ～平成 22 年度通常総会開催～



4 月 27 日（火）「パレスへいあん」にて平成 22 年度通常総会が盛大に開催された。提出された議案は全て承認を受けた。

懇親会においては、東北経済産業局 数井局長様、仙台市 伊藤副市長様、仙台商工会議所 藤崎副会頭様に御祝辞を頂戴し、乾杯の御発声は、仙台商店会青年部連合会（仙台 YEG の前身）初代会長 加藤義靖様に頂戴するなど多くの来賓の方々にも御出席頂いた。また、当日は日本 YEG 西居会長にも御同席頂き、橋浦新体制において華やかな船出となった。

仙台 YEG のみなさん、こんにちは。平成 22 年度会長の橋浦です。皆さまのご協力のおかげで、何とか新年度を出発することができました。個人の力は小さくとも、みんなの力を合わせれば大きな力になることを実感しております。新年度にあたって、私なりに YEG の魅力をまとめてみましたので、ぜひ思いを共有していただければと思います。

新年度出発にあたって

YEG の魅力は、

まず、第一に、**良質なネットワークの構築ができる**ということです。良質なネットワークの条件は様々ですが、YEG には気軽に会員同士が交流できる土壌があります。年齢層が近い、会社の役職や入会時期などにとらわれず、皆が同等の立場で接している、などの要因が考えられますが、本音で語り合える場がここにはあります。

第二に、**皆が自分の本業、ビジネスを最優先すべきであるというコンセンサスができている**という点です。YEG の事業にも一生懸命取り組めますが、仕事との両立を非常に大切にしています。言うまでもありませんが、仕事の都合で



平成 22 年度 橋浦会長

YEG の事業を欠席することがあっても、それを咎めることはありません。また、会員間でのビジネスのやりとりも盛んです。YEG のネットワークを有効に使ってビジネスに生かすことを推進しています。

第三に、**自分自身の人間力を磨く場になりえる**ということです。各種事業を進める中で、様々な人の考え方に接する機会があります。思いもよらなかった発想や参

考になる物事の進め方に数多く出会えるのです。私自身も尊敬できる友人が数多くできました。こんな風になれたらなあと思う素晴らしい方に数多く出会うことができたのです。

みんなで YEG の魅力をもっと、もっと高めていきましょう！！

4月25日(日) **第28回しおかみ市民まつりに参戦**してきました。当委員会メンバーの普段の行ないが良かったので、当日は快晴になり4月の終盤にしては非常に暖かく作業が出来ました。

仙台YEGからは毎年「味噌田楽(おでん?)」を振る舞っており、今年も時間前に完売するなどの大好評を得ることも出来ました。また、オークションは協賛していただいた品も良く、合計1万円以上の売上で塩釜YEGの方々にも非常に喜んでいただいたものと確信しております。 会員拡充・新人研修委員会 委員長 清水基正



歴代最高 1,560 人が散策！

「仙台・青葉まつり」の事前企画としての当青年部の一大事業である「**子と親のウォークラリー**」が5月9日(日)に開催されました。ウォークラリー実行委員会を中心に、約80名の青年部会員皆様のご協力により、1560名もの参加者を迎えることが出来ました。ウォークラリー事業は、仙台市内の小学生達に、楽しみながら郷土の歴史と文化、そして自然に触れる機会をつくること、保護者の方々と一緒に歩くことで家族の絆も深めていただくことを目的として実施して



おります。25回目を迎える今年は、まれにみる晴天に ➤

恵まれ、参加者だけではなく、運営する側にとっても汗ばむ暑い一日となりました。当日は、広瀬川に写真館を設け撮影した写真をゴール地点で渡す企画、各スポーツ団体のフラッグを制作し応援メッセージを参加者に記入してもらう企画など、会員間の信頼関係とアイデアを生かした青年部らしいイベントが出来たと思います。また、県内各単会青年部の皆様のご協力による物産交流市をはじめ、参加・体験型のコーナーもあり、良い思い出をつくる機会になったのではないかと思います。宮城県観光PRキャラクターのむすび丸は子供だけではなく保護者の皆様にも大人気でした。

野口実行委員長より！

青年部のメンバーの一人として、市民の皆様に愛される地域イベントに携われたことを事業が終了した今、とても幸せなことだったと思います。

5月12日、ハーネル仙台にて仙台YEGと東北大学の初の共同事業である勉強会「**東北大学との企業YEGコラボレーションの可能性**」が開催されました。今回の勉強会の趣旨は、東北大学地域イノベーション研究センターの概要や設立目的、事業内容を知る事からはじめよう！という企画です。

Let's Collaborate !!

当日は、地域イノベーション研究センター センター長の大滝教授がプロジェクターを使って様々な取組などを御講話頂き、80名を超えるYEGメンバーが熱い思いで講演に耳を傾けておりました。

今回を出発点と位置付けて、今後更なるコラボレーションの可能性を探り出し、地域経済の活性化のプラットフォームとなる取組をしていきたいと思ひます。

地域連携委員会 委員長 西下孝之



おしえて！！まさむねくん！！

全国大会に向けて



日本商工会議所青年部 第30回全国大会
「みやぎ・仙台大会」
主催 日本商工会議所青年部 主幹 宮城県商工会議所青年部連合会

開催地
宮城県仙台市 分科会：県内6都市にて開催!!

日程
平成23年2月17日(木)～20日(日)

30th Anniversary National Convention
伊達に華やげ 千代に続け
愛する地域のために

気仙沼市(気仙沼YEG)
大崎市(古川YEG)
石巻市(石巻YEG)
塩竈市(塩竈YEG)
仙台市(仙台YEG)
白石市(白石YEG)

Q. 全国大会ってなあに？

全国の日本YEG加入青年部400単会の仲間が集い、共に交流と連携を行う大会です。

えひめ・松山大会では約 4,000 人の全国の仲間が集いました。

Q. 全国大会のメリットはなあに？

全国大会では、たくさんの若手経済人が宮城・仙台を訪れます。普段では知り合う事ができなかった方々と交流やご縁ができるでしょう。また、みやぎ・仙台大会が良い思い出になって貰えればプライベートや仕事で宮城・仙台を訪れて貰える機会が増え地域振興の観点からもメリットがあります。なにより、全会員一丸となって大会を成功させたという連帯感は何物にも換えがたい思い出になるでしょう！

Q. 全国大会の当日は何をするの？

みやぎ・仙台大会では 3500 人以上の登録を見込んでいます。

これ程の人数になると一部の会員の努力では成功は難しいです。全会員一丸となって来て頂いた方にみやぎ・仙台大会が良い思い出になるようおもてなしをしていかなければ成功とはいえないでしょう。具体的に当日なにをするのかは、各委員会に全国大会実行委員会のメンバーが所属しているので確認してみてください。

Q. 次に宮城で行なわれるのはいつ？

東北で全国大会が行われたのは第 18 回青森大会から 12 年ぶりの事です。

次に宮城県で行われるとすれば 7 2 年後になるでしょう。

【編集後記】平成 21 年度広報委員会の思いを受け継ぎ、本年度もかわら版を発行します！もし、掲載希望記事をお持ちでしたら当委員会メンバーへドシドシお寄せください！また、全国大会情報も随時掲載予定。皆で盛り上げて全国大会成功させよう！

発行元

仙台商工会議所青年部

平成 22 年度広報・渉外委員会

URL <http://www.sendai-yeg.jp>